

こんにちは。

遂に梅雨入りしました！

今月はそんな雨の季節に、水についてやさしく描いた絵本をご紹介します。

雨の日は家で読書・・・そんな時間を過ごしてみてもはいかがでしょうか？

『しずくのぼうけん』

マリア・テルリコフスカ さく うちだ りさこ やく

福音館書店 1969年 860円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園★★☆ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

むらの おばさんの ばけつからとびだした しずく。

しずくは クリーニング屋さんや びょういんにいってみますが、きがつくと とう  
めいになって そらにのぼっていました。

そらから ふってくるあめと、ふゆにみる こおり、すいどうのじゃぐちから でて  
くる みず。どれも しずくの ぼうけんのたび なのです。

<子どもに手渡すときのポイント>

科学的なことを、やさしいストーリーとリズムカルな文章で表現した絵本です。

小さい子どもには詳しい内容はわからないかもしれませんが、その時は純粋に物語  
を楽しんでもらうことをお勧めします。もう少し大きくなって、もう一度この絵本に  
出会ったとき、また日々の生活のなかで、科学的なことといつか結びつくことがある  
でしょう。

文章がリズムカルで絵もはっきりしているのでよみきかせにも向いています。

いつものおはなしとはちょっと違った1冊としていれてみるのもいいかもしれません。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみて  
ください。